

ポ ー ア イ NEWS

2016 early spring【初春号】



一般財団法人 神戸マリナース厚生会

PORTISLAND HOSPITAL

ポートアイランド病院

発行日 / 平成28年1月

制作・編集 / 広報委員会



● 病院理念

ひかり輝く心身であれ
患者さまの
立場になって考えよ
責任をもって行動せよ

● 基本方針

- 複合施設** 都市群において、医療・介護・福祉を一体として提供いたします。
- 地域密着** 神戸市中央区、とりわけポートアイランド内の住民に対する身近な医療の安心を提供いたします。
- 後方支援** 急性期後の患者さまを在宅まで橋渡しをいたします。
- 教育実習** 学生実習・卒業後の就職の場として近隣の医療大学などと提携いたします。
- 国際交流** 主に東南アジアなどの医療・介護関連の学生を積極的に受け入れます。

● 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は特別で60年に1回訪れる丙申年で、戦後2回目になります。申・申年の語源と由来は樹木の成長に例えられ、「伸ばす」、「草木が伸びきり、果実が成熟して堅くなっている状態を表す」と解釈されています。今年を占ったネット情報によると、「変革の年」、「何らかの力が時代を動かす年」になると予想しています。また、丙とは「形をつくる」、「固める」との意味を含むといわれます。当院は神戸市立医療センター中央市民病院の移転後の跡地病院として開院して今年で早や5年目を迎えますが、干支に倣えば、飛躍のための改革に果敢に挑戦し、脆弱な部分はしっかりと補強することによって基盤を固め、理想とする病院像に近づける年にしなければなりません。

さて、昨年の病院目標は、病院機能評価3rd-Gの認証取得、財団設立百周年記念行事の遂行、4月介護報酬改定への対応、空フロアーの活用、一般病棟10:1の取得、入院患者190人の達成、承認面談の実施、などが掲げられましたが、一部を除いて達成できました。病院機能評価は6月に認定を受け、百周年記念事業として記念誌が発行されました。また、病床稼働率も年末には90%を突破し、透析患者さんは入院外来合わせて50名近くになり、今後さらに増加が想定されるので、二部制(クール)の導入と透析機の台数を増やすことにしました。病棟配分はすでに、一般急性期病棟、障害者病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟に区分され多様な病態に対応が可能となっていました。地域包括ケア病棟の導入は課題として残りました。

今年の病院目標は、2年毎(今年に当たる)に行われる診療報酬改定への対応、地域包括ケア病棟の開設運営、入院透析50人、外来透析30人の登録、入院患者200人の達成、一般病棟10:1の取得、地域で暮らすことへのアシスト、職場クラブ活動の推奨などを挙げました。この中で、重点項目は在宅医療への積極的参加と居宅の環境整備への支援です。その対策として、在宅復帰を必須条件とする地域包括ケア病棟の新設、訪問看護ステーションの開設、などを計画しています。この方針は、国の施策でもあり同時に当院の基本理念に叶うものです。医療・介護・福祉を一体として提供する複合施設として、地域住民に対する身近な医療の安心を提供する地域密着型施設として、急性期の治療を終えた患者さまを在宅まで橋渡しをする後方支援施設として、それらの使命と役割を実践する決意の表明です。

最後に、新春を迎え皆様の益々の御発展と御健康をお祈り申し上げます。



病院長 勝岡 洋治

8階南病棟を開設しました

当院は昨年12月13日に、8階南病棟（療養病棟）を開設しました。元々8階は北、西、東の3療養病棟で運用しておりましたが、南病棟が比較的整備されており、患者さまにとってさらなる入院環境の向上が見込めることから、今回病棟のリニューアル工事を施し、8階西病棟をそのまま南病棟に移動させ、新たなスタートとなりました。病院にお立ち寄りの際は一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。



南病棟（療養病棟）

人工透析2クール開始

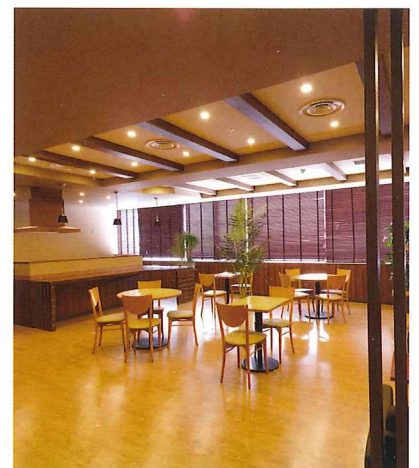
当院透析センターでは入院透析・外来透析を1部制（午前）で実施しておりますが、受診される患者さまの増加にお応えするため、12月1日より2部制（午前・午後）を実施しております。現在2部の受診は、入院患者さまのみとなっておりますが、状況をみながら柔軟に対応していく予定です。

透析センターでは、これからもスタッフを挙げて患者さまのニーズにお応えしていきます。透析をご希望の方は随時ご相談を承りますので、下記の番号もしくはメールアドレスまでお問い合わせ願います。

☎ 078-303-6123（代表） ✉ pi-info@kobe-mariners.or.jp



透 析 室



透析室ラウンジ

地域医療セミナーのご案内

今年も恒例の地域医療セミナーを開催します。地域住民の皆さまのお役に立てるよう、毎回テーマを厳選しております。今回は、循環器についての内容で、当院で循環器外来や透析を担当しております 平澤 将男（ひらさわ まさお）医師が講師を務めます。詳細は、右記のとおりです。

<第22回 地域医療セミナー>

テーマ 「心臓の事が気になりませんか
-病院での検査と治療について-

講 師 平澤 将男医師
(ポートアイランド病院 循環器内科担当、循環器専門医)

日 時 平成28年3月12日(土) 13時30分～(受付13時開始)

場 所 ポートアイランド病院(予定) 変更がございましたら、改めてご案内致します。

※参加申込みは、不要です。当日会場に直接お越し願います。



… 新任医師ご紹介



人位 晃(ひと い あきら) 先生

一般内科

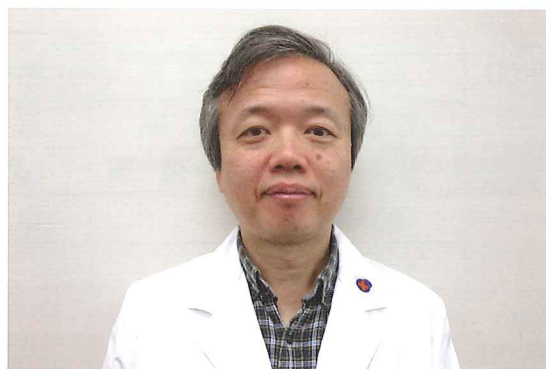
初心に立ち返ることを忘れず 在宅医療を推進していきます

神戸で生を受け育まれて、もう還暦を過ぎる時に至りました。神戸大学を卒業し、40歳までは兵庫医科大学病院で研究・臨床・教育の生活でしたが、平成7年の阪神大震災を契機に何の準備もなくいきなり地域医療の世界に飛び込み、それから20年余り、西播磨の地域医療にかかわりながら暮らしてきました。

60歳の区切りに至る前に、病に倒れてしまいましたが、幸い高校時代からの友人である心臓外科医が手術をして一命を取り留めることができ、術後3か月で職場復帰しました。その後公立病院の責任者を経て、このたびこちらでお世話になる事となった次第です。

在宅医療の推進を実現し、地域包括医療の本質を把握しつつ現実化することを目指しています。

「初心忘るべからず、折々の初心忘るべからず、老いてもなお初心忘るべからず」。世阿弥の言葉を噛みしめながら、茶道の稽古で教えていただいた「平常心是道：びょうじょうしんこれみち」の言葉を常に意識しつつ職務についております。宜しくご指導ください。



工藤 俊男(くどう としお) 先生

整形外科

懐かしき景色が望めるこの地で 地域医療への貢献をめざします

はじめまして。本年1月4日より当ポートアイランド病院に勤務している整形外科医の工藤俊男です。神戸市西区で17年間開業医をしておりました。子供が大学を卒業したのを区切りにしまして、私も方向転換し別の形で地域医療に貢献しようと思いつき、決意し久しぶりに病院勤務に戻ることにしました。当院は眺望がよく、病棟から六甲の山々が見渡せます。この景色は生まれてからずっと慣れ親しんできた風景です。わたしの実家は灘区のJR沿線で地震のため近所の家はほとんど崩壊し、それとともに幼い頃の思い出もなくなってしまいました。しかし六甲の山々は地震前と同じ姿を留めております。そのような懐かしい思い出とともに仕事ができる病院で勤務できるので幸せに思っております。

整形外科では、骨、関節、脊椎脊髄、手足の神経疾患を扱います。骨折などのケガ、腰痛、関節痛、手足のしびれや麻痺に対して、正確な診断、適切な治療を行っていきます。持てる力を存分に発揮し、皆様方の運動器の健康に寄与できるように努めたいと考えています。よろしくお願いします。

診療体制変更のお知らせ

新任医師が着任しました関係で、1月より診療体制が変更になっております。

一般内科外来

月・金・土曜日(午前) 人位 晃 医師

整形外科外来

水・金曜日(午前) 工藤 俊男 医師

※次頁の外来診療担当医表も併せて参照願います。